

外崎 稔 (とのさき みのる)

外崎稔さんの絵画の世界 ―独立展出品・連作の記憶から―

櫻庭利弘

外崎稔さんの絵は、「具象絵画」である。しかし、一見して写真の様に対象を観察して写实的に描いた「絵画」であると言うことは出来ない。心象表現による「絵画」であると言っているだろう。対象を一旦、心のフィルターを通して、その対象から最も強く感受されたものを再構築して、それを造形要素である「色と形」に置き捉え、一点の絵画として表現しているのである。対象を心で捉え、外崎さんでなければ描くことの出来ない極めて個性の強い独特な絵画である。

超現実的（シュール）な世界である。今回の作品展は、全国公募の団体である独立美術協会が主催する「独立展」（毎年１０月に開催される）へ出品した作品が中心に展示されると思うので、外崎さんが、この独立展で初入選してから以後、どの様に変化していったか、題材（モチーフ）がどう変わったかを主に記述してみたいと思っている。

外崎さんは、下北の大間小学校に勤務していた時に、「鮭の遡上」を目にして感動したと言っている。それを対象にした絵を描き始め、昭和５５年（１９８０年）「浜の記憶シリーズ」の大作をグループ展等で、次々に発表して注目される。

第５３回独立展（１９８５年）で「浜の記憶」が初入選となり、次の第５４回展（１９８６年）へも出品、連続入選となるのである。第５５回展（１９８７年）からは画題が「接点」と変わるが、画肌（マチエール）に輝きが増して、色彩も深い青の色が多用されるようになる。

「接点」の作品は、第５６回展（１９８８年）、第５７回展（１９８９年）と入選し続け、規定の５回連続入選となって「会友」に推挙されるのである。その後、題名が「時の狭間」と変わるも、第７１回展まで続くのである。「羽化の刻」「夏もよう」と題名は変わるものの、外崎さんは一貫して生物の進化、その生死をモチーフとして取り上げ、自分の生き方と重ねながら作品制作を続けてきたのである。継続は力なりである。

ひとりの作家（画家）の仕事と題材（モチーフ）の変化を意識しながら作品を鑑賞することは極めて意味深いことである。是非一点一点の題名を見ながら対峙して欲しいものである。

２０２３．５

■ 画 歴

1948 青森県北津軽郡板柳町生まれ
1972 卒業後パリヘスケッチの旅 ３ヶ月
1973 独学で油絵の大作に取り組む
1974 教美展・平和展・東北独立展初出品
1982 武蔵美短期大油絵科通信課程受講
1983 第1回個展 五所川原駅改装企画
ギャラリー喫茶「アッキー」
第51回独立展初出品
1984 絵画グループ「樹会」結成
1985 第53回独立展初入選「接点Ⅰ」
1988 AOMORI現代美術作家展出品
1989 独立美術協会会友に推挙
1992 西北の画家6人展（上田、後藤、平田、福岡、外崎、櫻庭）
1994 第5回個展 函館市「いるか807」
独立会友3人展 青森市「画廊・銀河」
（福岡、外崎、櫻庭）
1995 第1回団塊世代「中田稔&外崎稔展」
弘前市「スペースデネガ」
1997 それぞれの100号8人展 青森市「画廊・銀河」
（高橋、菊池、小野、外崎、櫻庭、畠山、林、葛西）
北の光 「津軽の画家たち9人展」十和田市
「文化センター」（葛西、川口、川島、土岐、中嶋、外崎、福岡、平田、櫻庭）

■ 展示作品

◇浜の記憶シリーズ

1	東北独立秋田展 浜の記憶1	F80号
2	東北独立福島展 浜の記憶2	F50号
3	東北独立仙台展 浜の記憶3	F100号
4	東北独立米沢展 浜の記憶4	F100号
5	青森平和美術展 浜の記憶5	F100号
6	青森県教美展 浜の記憶6	F80号
7	東北独立青森展 浜の記憶7	F100号

◇接点シリーズ

8	第53回独立展 接点1	S100号
9	第54回独立展 接点2	S100号
10	第55回独立展 接点3	S100号
11	第56回独立展 接点4	S100号
12	第57回独立展 接点5	S100号
13	第58回独立展 接点6	S100号
14	第59回独立展 接点7	F130号

◇刻シリーズ

15	第61回独立展 刻の狭間A	F130号
16	第62回独立展 刻の狭間B	S100号
17	第65回独立展 刻の狭間C	S100号
18	第67回独立展 刻の狭間D	F100号
19	第69回独立展 刻の狭間E	S100号
20	第70回独立展 刻の狭間F	S100号

◇夏もようシリーズ

21	第73回独立展 夏もようA	S100号
22	第74回独立展 夏もようB	F100号
23	第75回独立展 夏もようC	F100号
24	第76回独立展 夏もようD	S100号

1998 中里町ゆかりの画家たち 8人展
第2回団塊世代「中田稔&外崎稔展」
中里町文化センター「パルナス」
国際美術大賞展 グラパス賞受賞
1999 第8回個展「東京・銀座アートプラザ」
講評 美術評論家 中野 中氏
2002 青森独立美術5人展 東京・銀座「望月画廊」
第1回 北画会展出品 中三デパート 5F
2004 第9回個展 弘前市「スペースデネガ」
「外崎稔ホームギャラリー」HP開設
2009 外崎稔画文集「刻」発行
第10回個展 五所川原市 エルム2F
パリ国際サロン展入選 コラージュ
ブリジェ美術館 8日間滞在
2010 第10回個展 ニューヨーク・ブロードウェイ
ギャラリー「COO」
2014 第12回個展 弘前市・田中屋画廊
「コラージュによる心象表現」
2021 サムホール倶楽部展
青森市 さくら野百貨店工芸サロン
2023 外崎稔・菊池時男二人展 五所川原市「ふゆめ堂」
第13回個展 深浦町美術館1F／2F
「外崎稔油彩画展」

◇コラージュシリーズ

31	状況A	S50号
32	秋時雨	S50号
33	黙Ⅰ	S40号
34	黙Ⅱ	S40号
35	き・ず・な（赤い糸）	F20号
36	光景風力二	S40号
37	光景風力三	S40号
38	想	S40号
39	黙刻Ⅰ	S40号
40	黙刻Ⅱ	S40号
41	フォーレスト	F15号
42	ブルータイム	F10号
43	コンポジションA	F10号
44	コンポジションB	F10号
45	か・た・ち	F10号
46	予兆A	M8号
47	予兆B	M8号
48	予兆C	M8号
49	ミッドナイトストーリーA	F6号
50	ミッドナイトストーリーB	F6号

◎外崎先生在館日：5月27日(土)、6月4日(日)、6月18日(日)、7月2日(日)、7月16日(日)、7月23日(日)
時間：13：00～15：00